“乗り継ぎ券で、『みどりっこバス』『あいあいバス』『芥見岩っこバス』を乗り継いで少し遠くへどうぞ”

『みどりっこヘルパー』さん募集してます。お問い合わせは下記へ→芥見東公民館内・電話 241-1062迄 楽しくお手伝いしてみましょう。

芥見東 南の

みどりっこバス 通信

芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会 広報誌第18号平成25年10月15日発行
発行元：広報部（芥見東公民館内） 電話 FAX 241-1062

相手のために・・「みどりっこバス」が育む「絆」

岐阜市長良中学校教員
瀬口 幹浩様

「なんでそこまで、頑張れるんですか？」「みんなが地域のために働くから、自分も頑張れるんです」私の質問に会長の多田さんは、こう語られました。バスに乗り、その言葉がすぐ実感に変わりました。

目の前に現れたのは、バス内にあふれる様々な思いやりの行動でした。ヘルパーさんの温かい心遣い、バス内の温かい会話、さりげなく助け合う関わり。

どの方にも「自分から相手のために何かをしよう」という思いやり、自分たちで自分たちの地域を元気にしたいという願い、そして地域の[絆]が伝わってきました。

少子高齢化が叫ばれる時代。そんな時代には、相手のことを思いやり、自分から動いてみようとする「絆」が大切です。そんな絆を育む「みどりっこバス」、そして広がる様々な活動、将来の日本の一つのモデルを示す、素敵な活動に感動しました。

絆をつなぐヘルパーさんの活動

中部学院大学 人間福祉学部 人間福祉学科
I・A様

他の地区にもコミュニティバスを走らせている所がいくつかありましたが、ヘルパーが一緒になって手助けをしているのは芥見地区だけでした。すごく人と人のつながりや絆を大切にしていることがわかりました。

高齢化に対しての取り組みとして、多くの人が利用できるので、このようなバスは良いことだと思いました。

自治会だよりで、学校の行事なども発信しているし、一方的ではなくて住民と自治会の双方っていうのが、みんなで町をよくしていこうっていうのが伝わってきました。

私の家の裏山は、昔は頂上まで登ることが可能でしたが、整備をする人がいないため、今は草がはえて登ることは難しい状況にあります。

私の住む地区は、自然がすごく豊かなところです。自然を守ることも市民の務めだと思いました。それを、これから地域を背負う若い人たちに伝えていかなければいけないと思いました。

芥見は、地域のため、市民のために様々な活動を行っていて、すごくいい町だと思いました。有難うございました。

中学生ヘルパー体験記

岐阜市立藍川東中学校
三年 古川 剣士さん

僕は中学三年生の最後の夏に「みどりっこバスヘルパー」というお年寄りのバスの乗り降りを手伝うボランティア活動に参加しました。僕の住んでいる地域には住宅団地が多くあり、一人暮らしや老夫婦だけで生活しているお年寄りの方が多くいます。車の運転ができないお年寄りの方が坂道の多いこの地域で歩いて病院に通院したり、買い物に行くことはとても大変なことです。だから、多くのお年寄りの方がこの「みどりっこバス」を利用しています。バスの中ではお年寄の方たちが楽しそうに会話をしていました。

僕は、バスに乗って挨拶をしたり、バスを降りる際に代金を受け取り、機械に投入したりする手伝いをさせていただきました。お年寄りの方たちがバスの中で多くの人に会い、楽しそうにおしゃべりをしているのを見て、多くの人と触れ合うことができる「みどりっこバス」はお年寄りの方たちにとってかかせないものなんだと思いました。

僕にも四人の祖父母がいますが、老夫婦だけで生活しています。身近なお年寄りの姿からわかることは、年をとれば誰でも体が弱くなり、病気になって通院することも増え、若いころのようには動けなくなります。そんなお年寄りのかたにとって「みどりっこバス」はとても便利な乗り物で、役に立っていると思います。

僕は、お年寄りの方たちが安心して暮らせるような町にするために、これからも若い人たちが積極的にボランティアに参加し、お年寄りの方の支えになると共に、お年寄りの方が抱えている問題も知っていかなくてはならないと思います。

平成25年8月3日
芥見東夏祭り・盆踊り大会
芥見東小学校グランド

平成25年8月11日
芥見南夏祭り
つくし公園

これからも地域の皆さんに便利で安心で快適な「みどりっこバス」をめざして岐阜市・運行会社・運営協議会で協議、努力してまいります。

＜　みどりっこバスアンケートのご報告（実施期間 平成２５年６月１日～３０日）＞

多くの皆さんにアンケートのご協力をいただきました。事務局では貴重なご意見を参考に今後の「みどりっこバス」運営に生かしたいと考えます。

内　　容	①現在のままでよい	②変更したい
1.運行コースについて	19人	1人
2.バス停について	19人	2人
3.運行時間について	11人	9人

＜変更のご提案内容のＱ＆Ａ＞

1.運行コースについて

(1)大洞墓地コースについて

{回答}平成20年6月の試行運行開始時点から南回りに「願成寺」バス停を設置して運行しておりましたが、利用者は平日・日祝日とも1日当たり1～2名で利用者が少ないことから、平成22年 4 月の本格運行の際に、「願成寺」バス停を廃止して、「緑山東・願成寺口」として統合いたしました。

2.バス停について

(1)Vドラッグにバス停を設置してほしい。

{回答}現在Vドラッグの東端に「南山2・3丁目」バス停がありますのでここを利用してください。

(2)安達整形外科バス停を平坦な場所にしてほしい

{回答}北山橋南側の「安達整形外科」バス停は、安全上、交差点からの距離をとる必要があることから、坂道にバス停を置かざるを得ない状況となっています。利用者の皆さんからは直接安達整形外科へ行け、利便性も良いとのご意見もいただいており、現在の位置でのご利用をお願いします。

3.運行時間について

(1){基本的回答}「みどりっこバス」の運行経費は、1キロメーター当たりの単価×運行距離で決まります。
利用者の利便性と運行経費の兼ね合いですが、当初から約 2 年間の試行運行の期間に様々のケースを試行いたしました。その結果が現在のコース・バス停・運行時間となっています。従って現在の運行経費が運賃収入等で本格運行基準に収まっておりますので基本的には変更することはできないと考えます。

① 日祭日の終了時間の延長

{回答}日祭日は、病院等のお休みが多くお客様が平日の 56 パーセントであり、とりわけ乗客が少ない 1、2 便及び 13～16 便については運行経費の関係で運休しております。

② 夏場の運行時間の延長

{回答}現在、最終便は、南回りがバロー発17:57北回りがバロー発18:21ですのでお買い物や病院等も何とか済ましていただけるのではないかと思います。

③ 運行本数を1時間3本に

{回答} 現在「みどりっこバス」は 1 台で運行しておりますが、その年間経費と 1 日 170 人～180 人平均の乗客の運賃収入等とで本格運行基準内で収まっておりますが常時 1 時間に3本走らせるとなると 2 台のバスが必要となり、現状の収入では不可能だと考えます。

④ 夜をもう 1 本増やして

{回答}経費増に見合う運賃収入が見込めませんので無理と思います。

⑤ 日曜日夕方まで運行してほしい

{回答}理由は、(1)と同じで日曜日の乗客数から見て 13 便以降運休としています。

(2)南回りの安達整形外科バス停から北へ道路横断するのは危険である。

{回答}当面は、西側の横断歩道を通るようにお願いしたい。今後、市道南側の安達整形外科バス停を東方向に移動するとともに、おやま皮膚科と芥見南山 2 の信号の間に横断歩道の設置を岐阜市及び岐阜中警察署に要望していきたいと考えます。

(3)日曜日は運転手さんの交代がないため昼食時間もとれない現状を改善できないか。

{回答}運行ダイヤにつきましては、利用者の利便性を考慮し現在のダイヤで運行したいと考えております。昼食時間の確保につきましては、日本タクシーが法律に基づき、ダイヤの維持を前提として運転手の理解のもとに決定しております。
今後も運転手の健康管理に十分注意してまいります。(日本タクシー)

(4)岩田のバローも行けたらいいと思います

{回答}「みどりっこバス」はバロー岩田店には路線を持っておりませんので、「芥見・岩っこバス」に乗り継いで利用していただきたいと存じます。

以上、変更のご提案について回答させていただきました。④その他のご意見も頂いておりますが紙面の都合上掲載ができませんが、ご意見については今後の運営にいかしていきたいと考えますのでご協力のほど宜しくお願い申し上げます。